

創立
75周年記念

梧桐会(同窓会)開催!!

5月11日(日)午の日 PM1:00~

於大崎高校

注意
注
この
キが
來てい
んか?

お詫び
この度、創立58周年記念A組のクラスで恩師松島政樹先生に感謝の意をこめて想像人物画を贈る事になりました。

金額は一人3,000円と仰面刻ですが4月2日(火)までに下記口座まで振込みで下さる方へお預けします。

草々

振り込み口座
三井住友銀行 池袋支店
135-6643547
都立大崎高校 同窓会
五十嵐 俊男
尚此企画はフレンド企画が
お手伝いしております。
テクノ・電気工学部
カエントマンショングループ
03-986-9056

58年度A組卒業生に、左のよう
なハガキが送られました。
恩師に感謝の意をこめて想像人
物画を送ることになったので、一
人三千円を振込み、という内容で
窓会「五十嵐俊男」と書かれ、い

てきました。この度、梧桐会が開催していること、この度はお詫び申し上げます。皆様、どうぞよろしくお手伝いして下さい。

（勝手）やつてあるのです。

ご案内
ご時
5月11日(日)
12時30分
(受付開始)
1時~4時
会費
500円
(新卒者は無料)
プログラム
会長の挨拶
学校長の挨拶
会計報告

ことしは母校創立七十五周年。梧桐会は来年で発足五十年を迎えます。ますます充実した同窓会。ことしも母の日、五月十一日に開催します。いつかは出席してみようと思つてゐる方、今年こそ出席してみてはいかがですか。長年教壇に立つて来られたおなじみの先生方も、退職されたり、転任されたりで、寂しくなりますが、梧桐会総会は、そういう先生方と卒業生が会うことができる、またないチャンスです。皆さん、誘い合つて出席しましょう。

梧桐会報

いつか出席より
今年こそ出席

梧桐会報

第33号

昭和61年4月1日発行
発行所
梧桐会
東京都品川区豊町2-1-7
電話(786)-3355-6
都立大崎高等学校内
彦治印刷
渡良集行刷
人部葉正印
千日正編印

大崎よ、さらば!

旧職員 宮本 哲夫

遠くへ飛んで行った時間、どの

ような意味があるのか。人々が出

遇い去つて行った風景に何を感じ

じ得はないのか。めぐら来る春

は常に新しい芽生えを約束しなが

ら、なぜか忘れていたもの達を

も伴つて訪れる。

大崎高校、ならびにそこに出遇

った数多くの人々が、今は正に

遠景となつて、近景には新しい舞

台が用意されています。

思えば、今までの六十年の歳月

の半分を大崎高校で過ごさせていた

だけたことがあります。この間、

或程度は自分の意志と判断でや

ったものと思つておりました。

が、夢が叶つた今となつて

は「誰」か人生がされたいたと過

ぎなかつたという感じがいたしま

す。

梧桐会報

卒業生の尊さんは三年間、あの

プロックべいの道を通り抜けたわ

けでなく、私はその十倍の年月を

同じ道を通り抜けたことになりました

。しかし、不思議なこの美感は

あります。この道を通り続ける

のが当然なことだと感じさせていた

のです。しかし、この道を通

るのと同じで、それは生きている

年月におけるような幸福感があり

ます。過去も未来も絶えぬ過去

と語った古人の言葉を認めざるを

得ない時機がやって来るかも知れ

ません。

大人に成り損つた人間がヒターハー

として原宿への志向を表えるの

が自然の授業なのでしょうか。

大崎高校の卒業生の皆様、旧職

員の皆様、現職員の皆様の上々、

また、日越公園の森や、さわやか

な五月の風がやさしく通り抜けて

行くことを願つてやみません。

春風が頬をかすめるあしさだ。

校政

十九

雪が肩に降らしかねない時

少年は

長い間教壇生活をしてきたが、

いつの間にか、自分の娘の高校時

代も過ぎ、今はもう大学生である。その娘の高校生の時にこの大

き高校で受け持つた生徒達を私

は格別な感情で見送っていた。私

は人生の朝の冷

感がある。私は、人生の朝の冷

感がある。

梧桐会報

梧桐会員各位には、ますます

優勝して、各界、各方面で活

躍の様子と心からお慶び申しあげ

ます。皆様とともに永年のご功

績に対し、からの感謝を申しあ

げる次第であります。

さて、母校の近況でありますが、

梧桐会を新同窓会員として

登録することができました。

梧桐会の会員登録式が挙行され、三百五十

名の卒業生を新同窓会員として

登録することができました。

梧桐会の会員登録式が挙行され、三百五十名の卒業生を新同窓会員として

</

